

「出会い」に思う



教育随想

岡崎市教育委員会

委員長職務代理者 鈴木 聰一 氏

金在徳先生は、韓国大邱市の八十歳半ばになられる教育者である。司馬遼太郎の「韓のくに紀行」の中で、四百年前韓国に帰化した日本人武將沙也可が実在したと書かれたところで登場している方である。「セビロ姿の紳士は、金在徳とい、この村出身の知識人で奨学士という公職についていた。ようやく日本語で対話できる人を得た」と。その金在徳先生を囲んで、岡崎の先生たちと歓談したことがある。在徳先生の話の中で印象深く残っていることは次の三つである。

一つ目は、一九七二年、在徳先生が司馬遼太郎に会った時のこと。二つ目は、その二年後、中西光夫先生（当時岡崎市教育長補佐）が、一人で友鹿洞（沙也可の子孫が住ん

でいる村）を訪ねられたこと。その日は沙也可の祭りで子孫が集まっております、十四世であり日本語が話せる在徳先生が、短い時間だったが中西先生と親しく話ができた時のこと。

三つ目は、それから十八年後、名古屋で日韓のシンポジウムがあった時、パネラーとして出席された金在徳先生に「あの時いただいた」と「慕夏堂（沙也可の号）文集」を手に中西先生が挨拶に来られたこと。

司馬・金・中西の三先生の偶然的出会いが大きく、三先生の想いと行動が私の視野を広げてくれた。

四五〇余年前に岡崎で生まれた徳川家康は、韓国の松雲大使との劇的な出会いによって友好関係を修復した。そして、二六五年の太平の時代を築いた。



歴史を学び未来を築いていく岡崎の子供たちが、今一度、家康の平和への思いと行動力を感知し『出会い』を善く活かして成長してくれることを願っている。

（すずき そういち）



平成16年6月1日
6月号
発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

- 教育随想 1
岡崎市教育委員会
委員長職務代理者 鈴木 聰一氏
- この人に聞く 2
酒と浪漫の会代表
渡会 隆広氏
- 羅針盤 2
山中小学校長 市川 直昭
- ふれあい 3
東海中 荻須 文裕
- 特集 4
楽しいな English Time
～小学校で広がる英語活動～
- 岡崎市の教育予算 6
- お知らせ 8
- フォト・ヒストリー 10
白亜の鉄筋校舎（大正14年）
- この本を 10

この人に ふるさとシリーズ 聞く



平和への願い

酒と浪漫の会代表

渡会 隆広 氏

「私は一介の酒屋です。でも、すべての人が平和に過ごせることを願っています。みんなが地球のように丸い心になれば、必ず実現できると信じています。」

と語るのは、「酒と浪漫の会」代表として活躍しておられる渡会さん。この十年間、渡会さんたちは、この夢の実現に向けて、自費で世界を駆け回り活動をされている。

「私たちの本格的な活動は、一九五五年八月十五日、ドイツ・ブランデンブルグ門前で『マサンドラワイ

ン』（ヤルタ会談で世界平和の願いを込め、五十年間封印されていたワイン）を開封し、居合わせた世界の人々と一緒に乾杯をしたことからです。以後、神事に使われる古代米（赤米）を育苗して、赤米大吟醸『厭離穢土 欣求浄土』を完成させました。また、『杉原千畝ワイン』を醸造するために、千畝夫人の快諾を得てイスラエルへ渡航し、現地で依頼しました」と語る渡会さん。

その後、一九九九年にはインドでダライ・ラマ十四世（ノーベル平和賞受賞者）に、二〇〇〇年にはパチカンでローマ法王ヨハネパウロ二世に会われ、約一四〇〇名の小中学生が書いた平和を願う文集や千羽鶴とともに二種類の酒を手渡された。さらに、二〇〇一年は、『過去から未来へ希望を託した酒を』との呼びかけに多くの人が賛同。二十一世紀を担う米と称されているイセヒカリ米



で、田植えや稲刈りを経て、三月に大吟醸酒を完成された。ラベルは斎藤吾朗氏が描き、四月にニューヨーク・グランドゼロ地点で賛同者とともに献酒をされた。

「今年は、出雲大社よりイセヒカリ米の種籾を拝受し、杉原千畝氏の生家より仕込み水をくんで、にぎり酒大吟醸『愛』が誕生したところです。文字は千畝夫人、絵は斎藤吾朗氏からいただきました。このお酒は、多くの人々の平和への願いが込められています。その願いに応えるためにこのお酒を用いることが、使命ではないかと思っています」と、今年の抱負を語られた。

最後に、渡会さんは、次の時代を担う子供たちに向けて、このように話をされた。『努力だけでは道は開けない。しかし、努力無しには道はない』ということ。世の中を憂いているだけではなく、常に大きな夢を持ち、その実現に向けて努力することが大切です。二十一世紀はどうなるかではなく、どうするかという真剣に考えてほしいと思います」と。

氏名 わたらい たかひろ
生年月日 昭和三十三年二月五日
住所 明大寺町野畔十八ー八

羅針盤



感動する心を

山中小学校長 市川 直昭

新学期の準備であたふたとしている夕暮れ時の職員室。仕事の手を休め、窓から外を見ていた先生が、突然、大声で

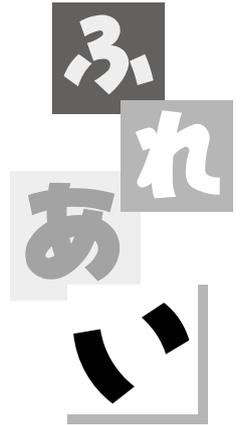
「夕焼けがとてもきれい。見て見て、早く早く。」

と、職員室にいる先生たちに呼びかけた。

「私は夕焼けが大好き。見て見て。」再びの声に三、四人の人が窓際に行き夕焼けを鑑賞し、その美しさに感動していた。

私は、朝、校門で子供たちが登校するのを「おはよう」の挨拶で迎える。子供たちの笑顔の挨拶。そのときのすがすがしい気持ちが大好きである。

速さ、能率、合理化を競う現代社会が、物質的に繁栄をもたらした反



音が見えた

東海中 荻須 文裕

「先生、久しぶり。」

梅の花が春の訪れを告げていた二月末。卒業式を間近に控えてあわただしく職員室を飛び出したわたしに、一人の青年が声をかけた。

「A男。久しぶりじゃん。そうか、卒業したんだ。資格は取れたのか。これから、どうするんだ。」

立て続けに問いかけるわたしに、A男は、中一のころと変わらないはにかんだ笑顔で、中学卒業後のこと



を話してくれた。

中学へ入学したころの彼は、体格が良く運動の得意な明るい少年であった。しかし、黒板やノートと向かい合う勉強は苦手で、いつしか机に突っ伏してしまふ姿が多くなった。生活にもやや乱れが表れ、たびたび家庭訪問をした。彼に学習の楽しさを感じさせたい。新しいことを知る喜びを経験させたい。わたしは彼の笑顔が見たいと願った。

理科では、感動する心を育てるところをテーマに授業を進めた。自然の美しさや巧みさを感じ取る心を育てたい。身の回りの現象に不思議さを感じ取る心を育てたいと考えた。音の追究では、目に見えない音に不思議さを感じ、具体的なイメージでとらえる授業を計画した。

第一時は、ブラックボックスの中で鐘を鳴らし、余韻に意識を向けさせ、音の大小を追究する一人学びを進めた。A男は多くの楽器を前にしてもぶらぶらするだけで、自分からかわろうとしなかった。もっと、彼の心を揺さぶることはできないだろうか。

第二時では、音の高低を追究するために身近なものを利用した自作の楽器を用意することにした。授業の導入で、A男の意識を引き付けるこ

とができるかが勝負である。ブラックボックスにワイングラスを入れ、ふちをこすつて不思議な響きを生じさせた。「キーン」普段聞き慣れない響きに、生徒たちは何の音だろうと思いをめぐらせた。A男もみんなの後ろから、のぞき込もうと身を乗り出した。この不思議な響きがA男の心を動かした。一人学びが始まると、長さの違う金属パイプをたたいて音と触れ合い出した。

「先生、ここがビリビリ震えとる。」パイプ笛を吹いた彼が突然叫んだ。パイプの底をふさいだテープに触れたとき、それまで意識しなかった音の正体が指先を通して体に伝わってきたのだ。音が見えた瞬間である。いつもは名前だけしか書いていない学習シートには、ワイングラスの水量と音の高低についての考えが書かれ、「実験が楽しかった。これ以上書けません」と感想を綴った。

二年、三年と厳しく指導されることの多い生活を送ったが、車の整備士の資格を取ることを決心し、「これから、親父の会社を手伝いながら大型免許を取って、トラックに乗ろうかなって思っています」と言い、専門学校へ進学をした。

精神的にもたくましく成長した彼を、まぶしく見つめた。

面、人間的潤いの枯渇を一方的に招いたことは周知の事実である。日常生活は散文化し、感動する心を失ってきている。

立ち止まってみれば、道端には名もない野草が生命の賛歌を歌い、見慣れた空が明日の希望を語りかけてくる声に感動できるのに、立ち止まる心を失った人には何も聞こえない。すれ違った友人が呼びかけた「おはよう」の挨拶の一言にも、立ち止まる心を持った人は、ともに暮らす喜びを感じるだろうし、見知らぬ人のさりげない親切や思いやりにも、感謝の念をもつだろう。そこに、感動を見つけ、感動をバネとした生きる力を生み出すのである。

衝撃的、異常なことがなければ感動しないというのは、人間的潤いの枯渇を示すにほかならない。当然なこととして通過していく日常茶飯事の中に感動を見つれることこそ、大切なことだと考える。

当たり前のことの中に感動を発見するとき、自然や人間に対する価値を自覚し、愛情を育むことができると思う。私は子供たちに子供らしい感動する心を育て、子供らしい感動を素直に表現できる力をつけたいと願わずにはいられない。



▲ 英語ゲームを楽しむインターナショナルクラブ (六ツ美西部小)

簡単な英会話や英語を使ったゲームなどの英語活動が小学校で行われるようになってきた。学習指導要領の改訂に伴い創設された総合的な学習の時間に、国際理解にかかわる内容が例示され、英語活動を取り入れる学校が増えたからである。授業は担任以外にゲストティーチャーとして、地域のボランティアや岡崎市外国語指導助手(A.L.T.)が加わって楽しく行われている。

本年度、岡崎市ではA.L.T.が七名に増員され、それに伴い小学校からの要請も六校増え、A.L.T.活用校が三十四校になった。また、カリキュラムの参考になる「小学校英語活動指導案集」が各校に配布され、授業に取り組みやすくなった。



▲ 学区ボランティアによるハロウインの紹介 (岩津小)



▲ 市内留学生との交流 (六ツ美中部小)



▲ 学区ボランティアによる英語絵本の読み聞かせ (羽根小)



▲ ロジャー先生と初めての授業（六名小）



▲ ゲームを通して学ぶ英会話（上地小）



▲ フラッシュカードを用いた英語の授業（愛宕小）



▲ マンツーマンで英会話指導（大樹寺小）

ALTとの新しい授業

年	Unit	内 容	年	Unit	内 容
3 年 生	1	Hello!	5 年 生	11	What is this?
	2	What's your name?		12	What do you like?
	3	How many～?		13	What day is today?
	4	How old are you?		14	When is your birthday?
	5	まとめ1 Unit1～Unit4		15	まとめ3 Unit11～Unit14
4 年 生	6	How are you?	6 年 生	16	What sports do you like?
	7	Face and Body		17	What food do you like?
	8	Color		18	School Trip
	9	Animal		19	Merry Christmas!
	10	まとめ2 Unit6～Unit9		20	まとめ4 Unit1～Unit19

▲ 教育委員会から発行されている「小学校英語活動指導案集」（活動例）

上地小では、ALTを講師とした授業を学期に一度行うほか、朝の帯時間（十分間）に自作ビデオを使って英会話の学習を意欲的に実施している。

羽根小の英語絵本の読み聞かせ、六ツ美西部小の「インターナショナルクラブ」（クラブ活動）やその他にも教育テレビを活用した学習等が創意工夫され行われている。

このように、楽しい授業や活動が行われることによって、「英語は楽しい」という気持ちを小学校のときから自然に芽生えさせることができれば、国際理解教育の大きな前進につながることになる。

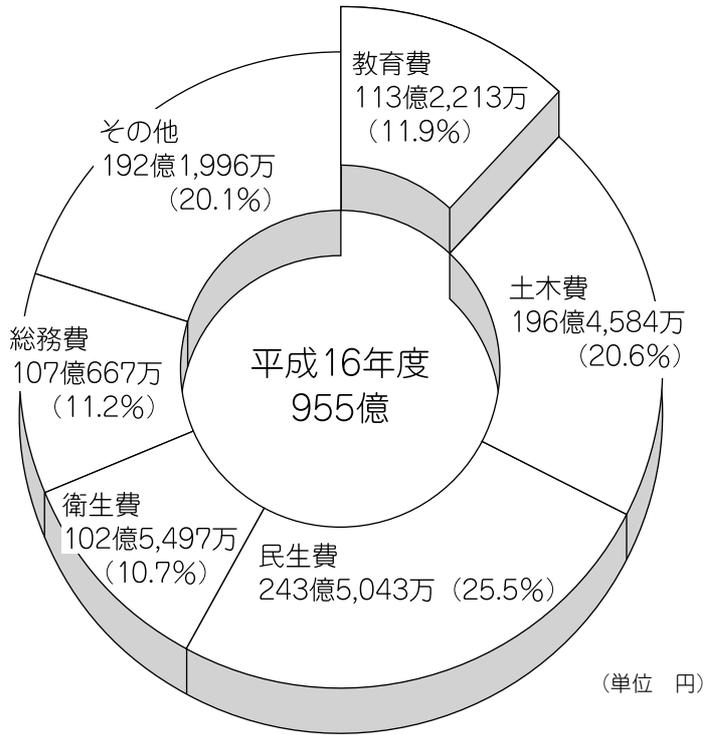
岡崎市外国語指導助手 (ALT) 紹介

- (写真の右側から)
- ジョセフ・ホアンさん
 - ジェームス・キングさん
 - パール・オオミヤさん
 - ジェームス・ロジャー・ハフさん
 - マリアン・トスさん
 - デイヴィッド・マーティンさん
 - ローレン・スウェンドウセンさん



▲ 各小中学校で活躍するALTのみなさんと藤井孝弘教育長（平成16年度）

〈一般会計予算〉



文化の薫る
人間性豊かなまちづくり

平成十六年度
岡崎市の教育予算

◆平成16年度の特徴◆

小中学校施設の整備	
校舎改築	小学校 一校
校舎増築	小学校 一校
校舎改造	小学校 一校
校舎耐震補強	小学校 一校
屋体耐震補強	小学校 六校
屋内運動場改築	小学校 一校
便所改修	中学校 一校 小学校 二校
校内LAN整備	小学校 五校
学校校地整備	中学校 一校
図書室調設備設置	中学校十二校



▲校舎改築事業 平成15年度完成 (恵田小学校)

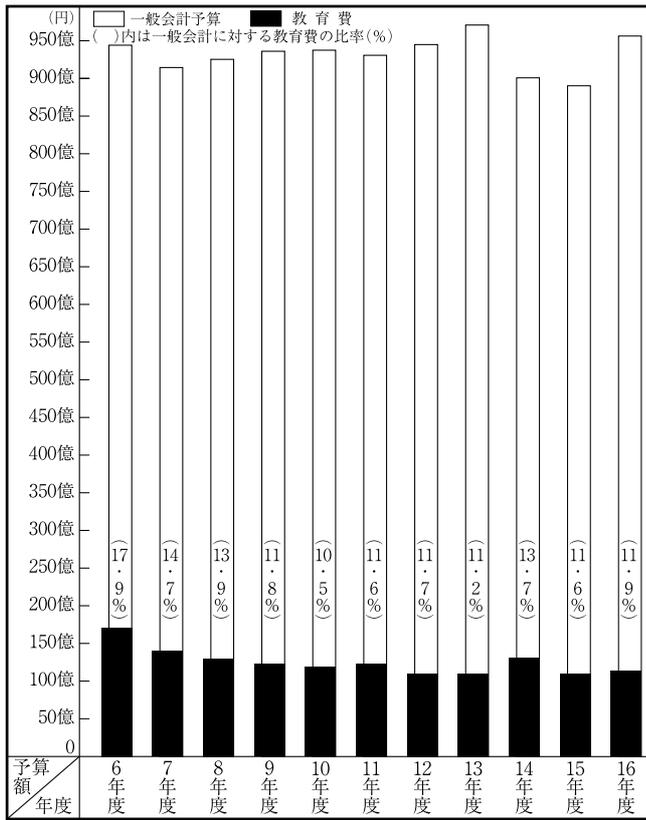


▲校舎改築事業 平成16年度完成 (梅園小学校)

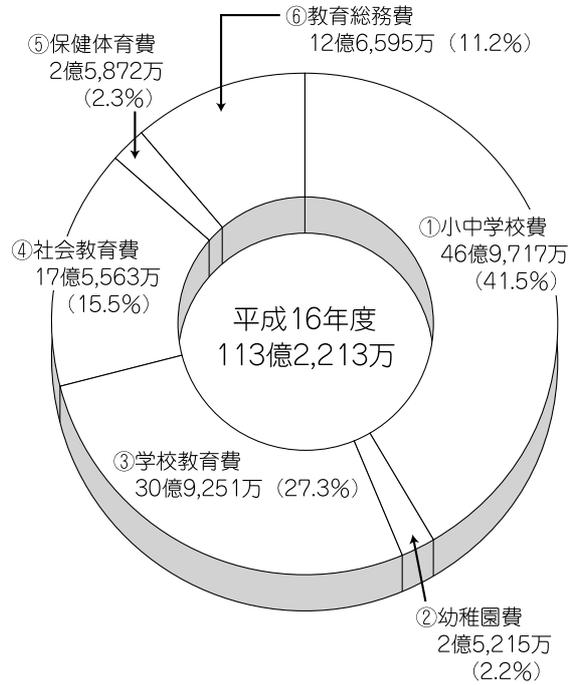


▲園舎改造事業 平成15年度完成 (常磐保育園)

◆ 一般会計予算と教育費の推移

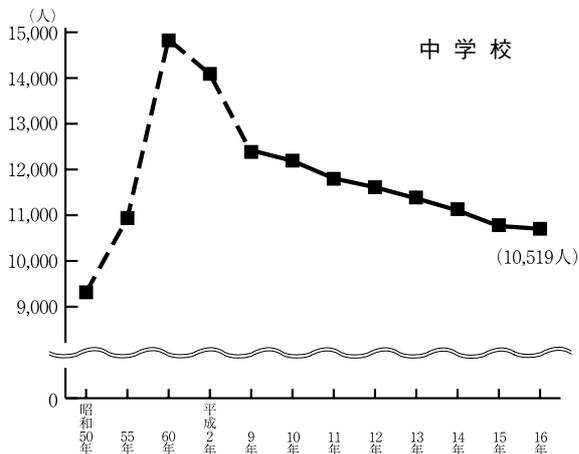
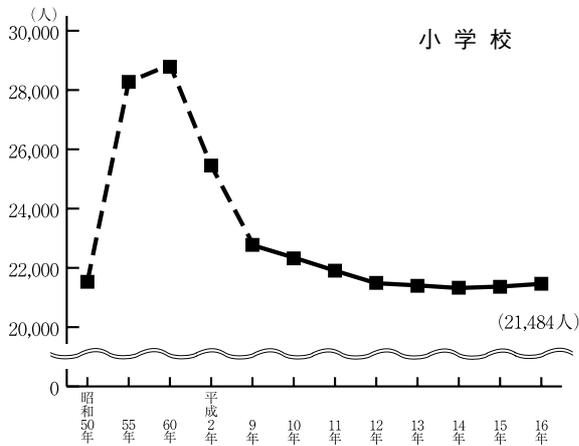


〈教育費の内訳〉



(単位 円)

◆ 児童、生徒数の推移 (数字は毎年5月1日現在)



◆ 平成16年度のあらまし ◆

- ①小中学校費
 - ・校舎改築 (梅園小)
 - ・校舎増築 (六ツ美西部小)
 - ・校舎改造 (恵田小)
 - ・校舎耐震補強 (緑丘小)
 - ・屋体耐震補強 (美合小他5校)
 - ・屋内運動場改築 (大樹寺小)
 - ・便所改修 (山中小・岩津小・葵中)
 - ・校内LAN整備 (北野小他4校)
 - ・学校校地整備 (竜海中)
 - ・図書室空調設備設置 (中学校12校)
- ②幼稚園費
 - ・幼稚園の管理運営
- ③学校教育費
 - ・行事開催事業委託及び指導研修
 - ・教育の振興, 研究助成
 - ・児童生徒の健康保持
 - ・小中学校各種スポーツ大会開催
- ④社会教育費
 - ・岡崎市民芸術文化行事開催事業
 - ・図書館の管理運営
 - ・視聴覚ライブラリーの管理運営
 - ・少年自然の家の管理運営
 - ・生涯学習事業
 - ・社会教育学級事業
 - ・指定文化財保存事業費補助金
- ⑤保健体育費
 - ・体育振興事業
- ⑥教育総務費
 - ・私立高校授業料補助金
 - ・私立幼稚園就園奨励費補助金
 - ・奨学資金支給, 貸付事業



● 教育最新情報

○ 読書の奨励

豊かな心を育てる教育の一環として、多くの学校では、子供たちが読書に親しむ機会を様々な形で設けている。

朝の時間帯に読書の時間や読書週間を設定するなど各学校の熱心な取組が見られる。子供たちは、個人で本を読んだり、担任やボランティアによる読み聞かせを聞いたりして本に接する機会も増えている。

文部科学省の文化審議会は、「読書は考える力、感じる力、表す力を育てるうえで中核となる。読書習慣を身に付けることは、一生の財産として生きる力となり、楽しみの基ともなる」と、読書の意義を強調する答申を出した。

また、すべての教科、総合的な学習の時間においても、読書を結びつけるようにして

授業を行い、自然科学や社会科学関係の本に対して興味・関心を高く持たせるように述べられている。

さらに、「十分間読書」の推進や、学校と家庭とが連携するために、連絡帳や通知表に読書状況を記述するなどの工夫が必要であると、具体例も示された。



▲ 朝のふれあい読書 (根石小)

● 教科書展示会の開催

例年、教科書展示会が各地区の教科書センターで開催されている。

特に今年は、平成十七年度から、小学校の全教科の教科書が改訂される予定であり、多くの教科書会社が出品を予定している。手に取って見るのも大変勉強になる。特に、指導要領の一部改正に伴い教科書の内容についても話題となっているので、ぜひ見学に行かれることを期待する。なお、場所や日程については次の通りである。

・ 展示会場 (岡崎地区)

岡崎市立図書館

岡崎市明大寺町茶園十一一三

☎ 51・2251

・ 展示期間

平成十六年六月十一日(金)

～七月四日(日)

・ 休館日

六月十四日(月)、十八日(金)

二十一日(月)、二十八日(月)

・ 展示教科書

検定済みの小学校、中学校、高校の教科書

● 教育研究所だより

教育研究所、太陽の城サークルルーム、殿橋ギャラリーの複合施設として平成十五年七月に開館した教育文化館もまもなく一周年を迎える。

昨年度、館全体の利用者総数は二七、八〇一人であり、そのうち、教育研究所の利用者数は一二、三二四人であった。これは、前年度より二一〇一六人も多くの人が利用したことになる。

今後、教育現場との連携を図りながら、研修・研究・相談活動の充実に寄与していきたい。

研修室・会議室の利用

教育研究所には七十二名を収容できる二〇五研修室をはじめ十研修室、十名ほどの少人数で会議等を行うことができる三会議室がある。

教育の今日的課題に対処する会議や研修活動に利用していただきたい。

資料閲覧コーナーの利用

学習指導案、学芸会等の脚本、総合的な学習の実践事例

集、教育年鑑等の資料、その他教育情報が整っている。申し出によって閲覧、貸出も可能である。

相談活動

○そよかぜ相談

新入学児を中心に小学校への就学について、不安や悩みを抱えている保護者を対象に相談活動を行っている。また、在学児童生徒の教育相談にも応じている。

○不登校相談

不登校について、保護者、児童生徒、教師を対象に、三名の臨床心理士による相談活動を行っている。

いずれも電話による相談は随時行っており、面談は予約制となっている。

教育研究所職員

所長	山本 悟
所長補佐	野田 光宏
指導主事	三浦みどり
〃	太田 恭子
〃	本多 末子
〃	酒井 順子
〃	山本久美子
教育情報担当	井上 正雄

●表 彰

◆第十六回管楽器個人・重奏コンテスト本大会（東海大会）

重奏の部

- ・審査員特別賞
サキソフォン四重奏（岩津中）
- ・梅村、深見、服部、伊藤

優秀賞

金管八重奏（岩津中）

- ・大竹、加納、小川、大竹
- ・兵藤、浪花、清水、岡田
- ・優秀賞

クラリネット八重奏（竜海中）

- ・千賀、齋藤、松永、小塚
- ・原口、林、服部、有澤

◆全国JOCジュニアオリピックカップ春季大会

男子四百Mリレー準優勝

- ・柳（竜海中）、永田（附属中）
- ・中沢（矢北中）、筒井（岩津中）

男子四百Mメドレーリレー三位

- ・柳（竜海中）、中島（矢北中）
- ・中沢（矢北中）、筒井（岩津中）

◆子どもエコワールドツアー

特派員（出発は七月以降）

- ・柴田 淳平（美川中）
- ・コリ井上澄人（矢作西小）

◆読書感想画コンクール

奨励賞（全国大会）

- ・田村 洋輔（六名小）

●小中学校のようす

平成十六年度岡崎市内の小中学校の概要がまとまった。五月一日現在の学校や学級数、児童・生徒と教職員の数を表に示した。

●学校・学級の規模（市内平均）

	小学校	中学校
1校当たり児童・生徒数	511人	584人
1校当たり学級数	17学級	17学級
1学級当たり児童・生徒数	30人	34人

本年度から、愛知県内の小学校一年生の学級が三十五人以下になり、岡崎市においては、次の十五校がその対象となった。

- ・梅園小、根石小、美合小、緑丘小、岡崎小、六名小、三島小、広幡小、井田小、大樹寺小、大門小、矢作南小、六ツ美南部小、小豆坂小、北野小

●学年別児童・生徒数（人）

学年	小学校						中学校		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
男	1,876	1,817	1,826	1,856	1,793	1,763	1,785	1,784	1,802
女	1,758	1,770	1,756	1,770	1,789	1,710	1,707	1,702	1,739
計	3,634	3,587	3,582	3,626	3,582	3,473	3,492	3,486	3,541

●児童・生徒・教職員数

区分	学校数 (校)	学級 〈特殊〉 (学級)	児童・生徒 (人)			校長・教職員(人) (非常勤講師を含む)			養護教員 (人)		事務職員 (人)		栄養職員 (人)
			男	女	計	男	女	計	県	市	県	県	
			小学校	42	737<59>	10,931	10,553	21,484	440	651	1,091	44	45
中学校	18	312<27>	5,371	5,148	10,519	391	267	658	21	25	3	2	
合計	60	1,049<86>	16,302	15,701	32,003	831	918	1,749	65	70	3	11	
昨年度合計	60	1,034<83>	16,295	15,815	32,110	846	900	1,746	64	70	4	11	

●芸術鑑賞会

感性を育む心の教育推進を目指して、本年度も芸術鑑賞会を開催する。

本年度は、子供から大人まで楽しめるようにとシャルル・ペロー童話集やグリム童話集で知られている「シンデレラ」(ミュージカル)を予定している。

普段観賞する機会の少ないクラシックバレエダンサーが多数出演し、美しいバレエが堪能できる演出、構成になっていて、芸術性に富む作品に仕上げている。

今後、小学校全学年を対象に、親子での参加を募っていくので、多くの子供たちが楽しめるよう、積極的な呼び掛けを期待する。

・日時 八月九日(月)

午前の部

十時～十一時半

午後の部

十四時～十五時半

・場所 岡崎市民会館

・演題 「シンデレラ」

・カ
ツ
ト
六ッ美南部小 青木貴之



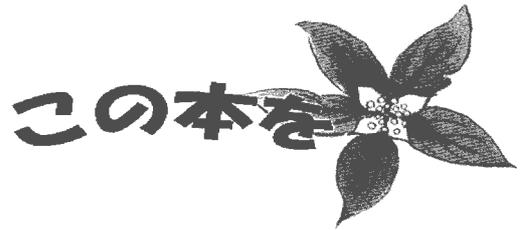
フォトヒストリー

岡崎の教育

白亜の鉄筋校舎 (大正14年)

写真提供：三島小学校

大正十四年、明大寺町の丘に鉄筋コンクリート造りの東洋一といわれる校舎が完成した。
昭和二年には、西三河で陸軍の大演習が行われ、演習後の宴会の会場として利用されたこともある。その時には、日本の陸軍将校や欧米、中近東など、外国の武官が集まったという。
また、戦時中には空襲を避けるために迷彩模様塗られたというエピソードも残っているが、現在は焼失している。
校舎は歴史を語る。現在市内で建設中の校舎や体育館にも、新たな歴史が刻まれていくであろう。



- *理想の小学校を探して 新潮社 草生 亜紀子 ¥1000
 - *トヨタ流自己改善力 経済界 若松 義人 ¥1600
 - *元気玉 リヨン社 小山 高生 ¥1500
 - *へたな人生論より良寛の生きざま 松本 市壽 ¥1500
- 河出書房新社

- *人間学 五月書房 谷沢 永一 ¥1500

「あなたが誰かと自分を比較して、『あの人と自分とは同じくらいの能力がある』と感じたときは、その相手はあなたよりも数段優れた人である。」

本書は、世間に通用している常識的な人間の見方ではなく、言わば逆の立場から辛口で人間の本質を鋭く語ったものである。著者は、本書で57点の提言を行っているが、いずれも豊富な人生経験に裏付けされた人を見る目の確かさが根底にあり、説得力に富む。処世訓としても味わい深い。

折り紙を器用に折る子供たち。その指先からは次々と色とりどりの花ができてあがる。雨が降って外で遊べないとき、折り紙遊びの輪が自然と広がる。できあがった花を教室に飾ったときの子供たちの表情は、実に満足そうだ。
雨の六月。教室の掲示板は花盛り。

新緑が目まぶしい六月。野原一面に小さな花が咲く。周りに子供たちが群がり、目を凝らして葉っぱを見つめる。幸運を呼ぶと言われる四つ葉のクローバーを求めて。
子供たちの姿にわたしもクローバーを探す。子供たちの幸せを願って。

シオ スア

相手や目的を念頭に置いた表現力の育成をめざす学校が増加している。国際化・情報化の急激な進展に伴い、社会的なニーズとしてコミュニケーション能力の育成が図られている。だが、最も必要なのはマニユアルに頼らない、心と心のコミュニケーションではないだろうか。

「スマイル。」

ALTの先生の大きな声が教室に響く。初めは恥ずかしがっている子供たちであるが、まもなく、人なつっこい笑顔とさわやかな明るい声で、教室が満たされる。国境を超えた広い心を持つよう大きく育ててほしいと願う。